シートメタル
SHEET METAL 九州

メタリストを応援する
ネットワーク
情報誌

No.60
2021 夏号

CONTENTS

〈特集〉
SNSにおけるネットリテラシー …… 2

〈企業探訪〉
第54回 株式会社 三藤製作所 …… 4

〈工業会からのお知らせ〉
第24回 定期総会開催される …… 5
第33回 優秀板金製品技能フェア審査結果発表 … 6
親睦ゴルフコンペ …… 8
技能検定合格者発表 …… 9
リーダー能力強化セミナー …… 12
プレスブレーキセミナー・板金いろは研修会 … 13

〈トピックス〉
オンライン賀詞交歓会に参加してきました! … 14

〈マイブーム〉
カヤックから見る、日本の自然の豊かさ … 15

今回の表紙の説明 …… 16
編集後記 …… 16
今後の予定 …… 16

特集 SNSにおけるネットリテラシー

皆さんは、現在いくつのSNSを利用しているでしょうか？また、それらをどういった形で利用しているでしょうか？

一口にSNSといっても、用途や機能によっていくつも種類が分かれます。現在代表的に利用されているものでいえば、「Twitter」、「Facebook」、「Instagram」等があります。それぞれに特徴があり、短文の投稿が主だったり、写真での投稿が主だったり、また、匿名で利用するもの、実名での利用が前提のものと様々です。基本的に共通しているのは、インターネットを通じて不特定多数の人々との交流を目的に利用されるサービスだというところです。近年ではこれらのSNSの利用者数は急速に増加しており、スマートフォンが普及していることも相まって、日常的にインターネットを利用する人々のほとんどが、何かしらのSNSを利用している状態です。

しかしその中で、現在社会的に問題となっているのが、SNS利用においての「ネットリテラシー」です。「リテラシー」というのは、元々は「識字能力」、つまり読み書きの能力を意味する言葉ですが、現代では「ある分野における知識・応用力」の意味で使われることが多く、「ネットリテラシー」といった場合、「インターネットを正しく理解し活用する能力」を指す言葉としてよく用いられます。ネットリテラシー自体はSNSが生まれる前からある言葉で、インターネットを利用する人々の間でしばしば話題となっていましたが、SNSの利用者が急増した今、改めて重要視されています。

SNSにおけるネットリテラシーの問題とは何かというと、一言で言えば誰もが手軽に情報を発信・受信できる環境である、という点にあります。それこそが現在のSNSの長所であり、ここまで普及する大きな要因でもあったのですが、同時にそれによって様々な問題も起きています。

よく取り上げられる問題の一つがデマ、つまり誤った情報の発信です。これは色々な面で問題視されています。まず最初に、情報を発信する人が故意に間違った情報を出しているのか否か、その次にそのデマを拡散する人は悪意をもって行っているのか否か、さらに情報の受け手となる人たちがその情報を鵜呑みにするのか否かといういくつかの段階で問題が発生します。

最初に情報を発信する人がどのような意図を持っているのか、ここから既に難しい問題が発生しています。悪意をもって嘘の情報を発信する場合ももちろんですが、特に今のSNSにおいては著しく情報発信のためのハードルが下がっていることから、自分があまりよく知らない、十分に理解していないものに関する情報を簡単に不特定多数の人に向けて発信してしまうケースが非常に多くなっています。またその情報を受けた上で、さらに自分の周囲に拡散する人も同様のケースが見られます。SNSの発達により、情報発信の手段が増え、それぞれが簡素化されたことで、故意にではなく、むしろよかれと思ってデマを発信してしまう人々は後を絶ちません。また、情報を拡散せず、受け手になるだけでも、リテラシーが低い場合には自分が得た情報を精査することなく、間違った知識を鵜呑みにしてしまう危険性があります。

SNSを利用した犯罪も、度々話題になっています。特にネットリテラシーの観点から注目されているのは、個人情報の取り扱いに関する問題です。具体的な例として挙げられるのは、SNS上に投稿した写真から自分の住所を特定され、そこからストーカー被害にあったケースや、自分が現在外出中であるというリアルタイムの内容を投稿することで、その間に空き巣被害にあってしまうといったケースが報告されています。これらは極端な例かもしれませんが、いずれの場合も、自分が発信する情報がどういう種類のものか意識していれば防ぐことは可能であったという点で、ネットリテラシーについて考える上ではとても重要な事例です。

こうしたSNSでの問題は、インターネットを通じて、皆が簡単に世界の誰とでも交流できるというSNSの利便性の裏返しであるともいえます。現実に、顔と顔を突き合わせて情報交換していた時代には起こり得なかった状況での問題を防ぐには、情報を発信する側も、受信する側も、新たな「リテラシー」を身につけることが今後の課題となっています。

SNSに限らず、「ツール」というのは多くの場合メリット・デメリット両方の側面をもっています。SNSのような「ツール」であれば特にその両面ともに強力で、使い方を誤ったり、悪用されてしまえばとても危険なものにもなり得ます。昨今、コロナ禍により、「新しい生活様式」に社会全体が移行していく中で、個々人の生活におけるSNSの役割は今まで以上に大きくなっていき、仕事やプライベートでの利用の頻度もますます増えていくと思われます。そうした中で、改めてその利便性に着目するばかりではなく、適切な使い方を心がけるということも必要になっていくと思います。

〈 稲富　隆大　(株)稲富プレス工業所 〉

第54回

企業探訪

株式会社三藤製作所（ミフジセイサクショ）

会社概要

社　名	株式会社三藤製作所
代表者	代表取締役社長　藤　伸次
創立年	1956 年 2 月
所在地	福岡県糟屋郡粕屋町大字上大隈 665-1
ＴＥＬ	092-938-2409
ＦＡＸ	092-938-7209

九州シートメタル工業会の会員各社を訪問し、紹介させていただくシリーズ。

一年ぶりの第54回は、福岡県糟屋郡にある株式会社三藤製作所様で、藤伸次社長と藤雄一朗常務取締役にお話を伺いました。

設立以来使っている看板の前で、藤伸次社長(右)と藤雄一朗常務(左)

昭和21年に藤社長のご両親が創業、昭和31年に法人設立されておよそ65年。機械加工から溶接製缶，建築金物製作へと、タレットパンチプレス導入をきっかけに仕事内容もがらりと変わり、最近では空調用板金部品やFRPタンク架台を主に製作されています。

工場は、金型自動交換のパンチ・レーザー複合機や最新鋭の曲げ機等が並ぶ精密板金エリアと、大小さまざまな鋼材が加工される溶接製缶エリアに分かれており、自社で考案されたバラシ用のテーブルや、2年前に新築された事務所棟に繋がる階段(藤社長自ら設計)など、自社の技術を生かした環境づくりをされていました。

整理整頓された精密板金エリア

藤社長設計の階段

永続する秘訣は『感謝』と仰る藤社長。これまで苦境に立たされる度に、新しい繋がりを紹介いただいたご経験から、「人と人の繋がりが大切。その為にお客様から頂いたご依頼に一つ一つ大切に応えてきた」との事。

藤社長がこれまでで一番印象に残っている仕事は、東北新幹線のレール設置用のコンクリート型枠製作。納品後に不具合が見つかり、約2か月間現地(福島)に泊まり込みで手直し対応。材料調達などで困った際は現場近くの鉄工所の助けも借り、最後は会社からほぼ総動員での作業で完成。「最終検査で合格した時は感動で涙があふれた」との事。聞いていてとても感動しました。

昔は現場に直接出向き学ぶことで、製品の知識が深まり社内の技術向上に繋げられたが、最近はその機会が減っているとの事。そんな中、現場作業がメインの会社で修業を積まれた藤常務。「ずっと現場を経験してきました」と力強く仰る姿が印象的でした。

最後に、本工業会発足当初から長年にわたり役員としてご尽力いただいた藤社長から、「これからも初心(設立趣旨)を忘れず、横の繋がりをしっかりと広げていただければ」と激励をいただき、コロナに負けず工業会を盛り上げていこうと思いを新たにしました。

〈長澤　敏光　ナサ工業(株)〉

第24回『定期総会』開催される

第24回定期総会が、4月22日（木）30社48名の会員の出席により、オリエンタルホテル福岡にて盛大に行われました。令和2年度の実施事業報告、収支決算報告及び令和3年度の事業計画（案）、予算計画（案）の議案について会員の皆様に承認頂き、引き続きの続投で役員改選も行われ、令和2年度の板金技能検定の合格者発表と今回より特級合格者には楯も授与され、九州勢の目覚ましい活躍の続く第33回優秀板金製品技能フェアーの表彰もされました。

定期総会　安岡会長挨拶

技能検定試験特級合格の
吉田雄一さんへ楯の授与

講演会　講談師 日向ひまわり様

続いて第2部の記念講演会が昨年開催出来なかった講談師日向ひまわり様より、講談に描かれる人の繋がりのお話をしていただき、終始笑いが尽きることがありませんでした。

第3部の懇親会は、感染防止対策を万全にして2年振りに開催され、和やかに時間が経過して、鶴元総務部会長の一本締めで無事に閉宴することが出来ました。

たくさんのご出席、誠にありがとうございました。

次回第25回定期総会へもたくさんのご出席をお待ちしております。

〈白水　靖久　（株）新栄製作所〉

懇親会の様子

第33回アマダ優秀板金製品技能フェア審査結果発表

3月6日（土）受賞作品は優秀板金製品技能フェアホームページにて発表されました。
コロナウイルス感染症の影響で、例年であればアマダフォーラム246（神奈川県伊勢原市）にて、開催されるはずの式典が2年連続の中止となりました。

今回は288点（その内、海外より16ヶ国98点）とコロナ禍の中、昨年と変わらぬ数の出品があり、厚生労働大臣賞は「Rのクロージング曲げ」（株）現代工業（大阪）
経済産業大臣賞は「ひずみ玉」（株）佐藤医科器械製作所（滋賀）が受賞されました。

九州の主な受賞作品は以下の通りです

中央職業能力開発協会 会長賞

ナサ工業(株)

曲旋

組立品の部 グランプリ

(株)田名部製作所　羅針盤

単体品の部 グランプリ

(株)ナダヨシ　桜球（さくらだま）

溶接品の部　審査委員会特別賞

(株)まるわステンレス工業

くじらモニュメント

九州からも7社から8作品が出品してあり、板金フェアが広く浸透してきました。
コロナ禍でも変わらない出品数、海外作品。毎年レベルが上がっていき上位入賞がますます厳しくなってまいりました。(今年より準グランプリが新設されたのは良いニュースです。)

昨年の本誌の記事で、対策といいますかもったいない点として、外から見ただけでは技術の特徴や素晴らしさがわからないものや、アピールポイントが何なのかわからないものもある。板金フェアに挑戦する企業の方々にとっては、プレゼンテーション能力も重要になってくるという話を載せていました。今年はWEB投票ということもあり、さらに重要であったようです。

たくさんの写真で順を追って説明したもの。製作工程を動画でわかりやすく説明するもの。動きのある部分を動画で説明したもの。自分たちが苦労したこと、工夫したこと、ここを見て欲しいというところをうまく伝えることができることも大事な評価のポイントのようです。

コロナ禍でなければ表彰式参加メンバーで、フォーラムでの表彰式、ソリューションセンター会場での交流会、その後の食事会、2次会と技術的な話、仕事の話と、九州はもちろん他の工業会とも深夜まで親睦を深めるところですが、2年連続表彰式がなかったため、審査員の講評を聞いて話をして親睦を深めるという締めくくりというべき機会を失っているのが残念です。

社内教育、産学連携、技能伝承など、フェア出品にはたくさんの効能が見込めますので、まだ出品されたことのない方はぜひチャレンジしてみてください。
来年は表彰式ができると信じて、たくさんの出品をお待ちしております。

技能フェアホームページ　http://www.amada.co.jp/fair/

〈植木　剛彦　(株) ナダヨシ〉

シートメタル工業会親睦ゴルフコンペ

令和3年3月25日、コロナ禍で開催が危ぶまれましたが、晴天のもと、小郡カンツリー倶楽部で親睦ゴルフコンペが15社18名で行われました。

久しぶりに会う仲間と、近況報告や、パットの練習しながらスタートを待ちます。

ドキドキのティーUP。緊張の中、1組目がスタート！何回してもなれません（汗）
夏のように暑い中、珍プレー好プレーが繰り広げられました。

集合写真

バースデイ優勝をするかと思われた、長澤社長は惜しくも2位！
優勝はベルテクネの前田社長でした。おめでとうございます！

紅一点の参加者の出口専務は、なみいる飛ばし屋を抑え、
ドラコン賞を2つ（全部）とるすさまじさ！
ベスグロは85でラウンドした、安永社長でした。さすがですね。

優勝のベルテクネ・前田社長

ドラコン賞の出口工業・出口専務

ベスグロのヤスナガ・安永社長

コロナ禍で、表彰式はありませんでしたが、日ごろのストレスを解消できる、楽しいコンペでした。

〈山本　大地　（株）ダイチ〉

令和2年度 技能検定合格者発表

技能検定合格おめでとうございます！

令和2年度の後期板金技能検定試験が令和3年1月31日に筆記試験と特級実技試験、1月23日と2月6日に1級と2級の実技試験が行われ、九州シートメタル工業会から10社40名が受験し、下記21名の方が合格されました。（合格率52.5%）

又、昨年までは1級と2級の合格者にはワッペンを贈呈しておりましたが、特級の合格者には何もお渡ししていなかった為、本年度から（過去の13名の合格者も含めて）記念の楯を贈呈する事となりました。

本年度から始まったオンデマンド講習や各受験者の努力が実を結び、難関を突破され、技能士の称号を手に入れられました。本年度も同じ時期に技能検定試験はございますので、会員各位の受験申請をお待ちしております。

板 金 技 能 検 定 合 格 者

工 場 板 金

作 業	級	氏 名	事 業 所
工場板金	特級	吉田　雄一	（株）ナダヨシ
数値制御タレットパンチプレス	1級	篠原　慶匡	（株）研工
数値制御タレットパンチプレス	1級	砥上　勝利	（株）ヤスナガ
数値制御タレットパンチプレス	1級	藤　雄一朗	（株）三藤製作所
数値制御タレットパンチプレス	1級	植田　晃弘	（株）アマダ
数値制御タレットパンチプレス	2級	池岡　誠太	（株）研工
数値制御タレットパンチプレス	2級	近藤　凌	（株）ヤスナガ
機械板金	1級	梶原　拓也	ベルテクネ（株）
機械板金	1級	江藤　和也	ベルテクネ（株）
機械板金	1級	岸川　勇介	（株）三松
機械板金	1級	川元　涼平	（株）三松
機械板金	1級	酒井　哲也	（株）三松
機械板金	1級	山村　隆司	（株）三藤製作所
機械板金	2級	十塚　陽介	（株）研工
機械板金	2級	松本　和也	ベルテクネ（株）
機械板金	2級	松岡　稔	ベルテクネ（株）
機械板金	2級	松若　翔	ナサ工業（株）
機械板金	2級	相良　孝斗	（株）三松
機械板金	2級	堤　勝哉	（株）三藤製作所
機械板金	2級	吉田　一郎	（株）三藤製作所
機械板金	2級	山村　恭平	（株）三藤製作所

※合格率の詳細は11ページを御参照下さい。

合格者コメント

特級合格

工場板金　特級合格

株式会社ナダヨシ　　吉田（ヨシダ）　雄一（ユウイチ）

今回が初めての受験で、内容も普段の作業とは異なるものでしたので、とにかく、過去９年分の問題を解きました。その際、参考書やネットを活用しながら、自分なりの解説書を作成しました。問題と回答をおぼえるのではなく、誤りを正せるよう勉強しました。また、公式や用語、表などは、印象に残りやすいので、自分の字で作成しました。作り上げるまでは苦労しましたが、最後の方は、楽に勉強する事ができました。

特級は、１級（両作業）に合格した時から、必ず合格すると、決めていたので大変うれしく思います。周囲からの「大丈夫でしょ」という言葉に、答えることができ、ほっとしています。以前、先代の社長から、「試験は会社の為ではなく、自分の為。会社はチャンスを与えるから、自分でつかみとれ」と言われました。後輩にも是非、自分の手でつかみとって欲しいと思います。その際は、私にできるサポートはしていきたいと思います。

1級合格

数値制御タレットパンチプレス板金作業　１級合格

株式会社研工　　篠原（シノハラ）　慶匡（ヨシタダ）

今回、受験するにあたり学科試験は、過去の問題を実際に解いてみて、間違えやすいところは気を付けて理解するまで繰り返し何度も解きました。作業試験に関しては日々の行っている作業工程を一から見直し、改めて一つ一つの行程の意味を理解しつつ、試験の内容を全行程繰り返し行ったことが合格できた理由だと思います。

今回、無事に合格する事ができたのも、先輩や上司が日々、懇到切至な指導をして下さり、確かな技術・知識が身に付いたからこそだと思います。

私はこの技術と知識をさらに広げ、自身の向上をして後輩へこの経験を伝えていき、ものづくりの品質向上へ努めていきます。

1級合格

機械板金作業　１級合格

ベルテクネ株式会社　　梶原（カジワラ）　拓也（タクヤ）

今期の目標の1つを試験合格としていたので、結果を聞いた時は素直に嬉しかったです。受験前には不安な気持ちを無くす為に仲間と一緒になり、『あぁじゃない、こぉじゃない』と言いながら、お互いに練習を繰り返した事で自信を持って試験に挑むことが出来ました。今回チャレンジした事で仲間の大切さ、準備の大切さを改めて再確認する事が出来ました。

最後に今回の試験に臨む為、しっかりと環境をつくってくれた会社と家族に感謝したいと思います。

2級合格

数値制御タレットパンチプレス板金作業　2級合格

株式会社ヤスナガ　近藤（コンドウ）　凌（リョウ）

今回受験するにあたり、何度も繰り返し勉強しました。そして分からない所があれば、上司の方々に分かるまで教えて頂き、本番の一週間前からは、本番の試験時間を想定して、タイムを計測しながら練習を行った事が合格に繋がったと思います。

今回初めての検定試験という事も有り、少し不安でした。ですが、合格できた事で自分に自信をつける事ができました。

次に後輩たちが受験する時には適切なアドバイスができるように知識をさらに高め、板金検定1級に挑戦しようと思います。

2級合格

機械板金作業2級合格

株式会社三松　相良（サガラ）　孝斗（タカト）

今回の受験では普段使う事のないベンダーだったので、勉強する良い機会になりました。先輩の方々がわからない事や質問した際には丁寧に説明して頂き、また上司の方が勉強する時間を確保できるように調整して頂いたりと周りのサポートが有ったからこそ合格できたのだと思います。

受験で得た知識や技術を積極的に普段の作業に取り入れたことによって加工の幅が広がりました。更に特殊な加工が出来るよう日々努力して様々な事に挑戦していきます。

Congratulations!!

合格率詳細	受験者数	合格者数	合格率
工場板金特級	8名	1名	12.5%
数値制御タレットパンチプレス板金作業1級	6名	4名	66.7%
数値制御タレットパンチプレス板金作業2級	4名	2名	50.0%
機械板金作業1級	8名	6名	75.0%
機械板金作業2級	14名	8名	57.1%
合　計	40名	21名	52.5%

「リーダー能力強化セミナー」(4回目)が実施されました

4回目「自ら考え判断し、適確な行動が積極的にできる部下を育てる」(3月9日 4社9名で実施)

日常の教育訓練の場面で、作業手順などは、手取り足取りで比較的容易に教えることは可能ですが、具体的な目標値(状態)を設定して、熟練度や速度を高める工夫が不十分な場合が多いと考えられます。リーダーは、目標設定の仕方、達成させるためのフォローの進め方などの考慮も必要です。さらに、部下が独自の状況判断で行う役割行動の場合は、一方的な指導指示ではなく、部下に考えさせ、適切な質問をしながら、考えやアイデアを引き出して職務遂行させる工夫も必要です。部下を成長させるリーダーに必須の知識能力として、部下に考えさせ工夫させるコーチングテクニックを学びました。

カリキュラム

❶現在の部下教育の振り返り
・部下の教育訓練実態
・困っていることや、うまくいかないこと

❷コーチングとは

❸聞く技術ノウハウ

❹コーチング技術のポイント
・質問のテクニック

❺日常意識して実行すべきリーダー行動

受講者の感想(受講後の日報・感想文より抜粋)

・コミュニケーションをとる上で、タイプによっては質問の仕方等も変えた方が効果的だということや、自分が思っている以上に伝わらないものだと感じたので、もっと話し方・確認・質問の仕方等に工夫が必要だと思いました。

・人に伝える事のムズかしさを実際に感じる事ができた。ちょっとした工夫をすることで伝わりにくかったものが正確に伝わる事も分かった。

・同じ文章を読んでも受け取り方は人それぞれで、自分とは違う視点で物事を見ていると感じた。自社の中でも立場や部署が違えば当然意見が分かれてくると思うので、今日の体験から他人の意見を尊重し、考えていけたらと思う。

・部下1人1人に対して、それぞれにあったコーチングをしていこうと思いました。自分はティーチングが多い部分が有るので反省です。8対2の原則を意識します。

・伝え方の実験をやったところ、人それぞれ伝え方が違った。伝え方が違えば受け取り方も人によって違う。同じ伝え方でも人によって正しく伝わっているかわからないから、伝わっているかの確認が大切。

プレスブレーキ（初級）セミナーが実施されました

令和3年2月4日（木）と5日（金）の2日間で、プレスブレーキ（初級）セミナーが4社4名で実施されました。

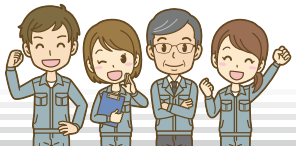
長年、このプレスブレーキセミナーの講師を勤めて頂きました生駒先生が引退され、初の海老原先生による講義となりました。

座学の様子

実技を教えるのが大好きと言う先生の予告通り、時間をオーバーして実技を続けてしまいましたが、セミナーが終わり、受講者の方々に書いて頂いたアンケートを見ると、「実技の時間は予定よりオーバーしたが、オーバーした分で良かった」や、「実技をして時間が過ぎるのが早いと思ったので講習時間は、もっと長くして欲しかった」と言う記載が有りホっと致しました。

実技の様子

そのアンケートの中のセミナーで良かった項目の所で、全員がマルを付けたのが「形状入力・特殊な曲げ(あま曲げ・FR曲げ等　練習問題」でしたので、実技の時間が充実していたセミナーとなりました。



板金“い・ろ・は”研修会の最終日が実施されました

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の再発令が有り、当初は3月3日に実施の予定でした板金“い・ろ・は”研修会のフォロー2回目は、3月16日に変更して6社15名で実施致しました。当工業会の数あるセミナーの中で、一番長い期間を掛けて実施するセミナーですが、本年度は新型コロナウイルスの関係で、工場視察研修が中止となり、4日間でのセミナーとなりました。

皆さん一生懸命書き込んでいます

グループ内でエールを交換しあっています

カリキュラムとしては、事前課題（半年間の振り返り、自分の強み・弱み）を発表し、チーム内で相互啓発を行い、プロ見習いとして重視すべきことをグループで討議し、発表しました。それから、個人演習として自己成長プランを作成し、発表し、講師からアドバイスをもらいました。上司への支援依頼として上司に手紙を書き、グループ内でエールを交換して、宿題（自己目標設定シート）を持ち帰り、約8ヶ月に渡るセミナーを終えました。新社会人として色々な事を学んだ実のあるセミナーとなりました。

TOPICS
トピックス

オンライン賀詞交歓会に参加してきました！

㈱まるわステンレス工業 営業部の宮本です！

2021年1月29日、株式会社ＮＣネットワークさん主催の賀詞交歓会『第18回 エミダスだよ！全員集合！！』オンラインに、当社も参加させて頂きました。

ＮＣネットワークさんは、インターネットを中心とした工場向けネットワークサービスの展開を日本で初めて開始された企業で、最適な発注先を探し出す工場検索エンジン“エミダス”が特に有名です。

今回初めてのzoomウェビナーによる開催で、参加者は全国各地からなんと３００名超えし、大規模なイベントとなりました。

なかでも安倍晋三前総理のご参加が決まり、中小製造業の経営者とディスカッションするという一大企画に、みなさん驚きと期待でいっぱいだったと思います。

安倍前総理とのディスカッション

㈱マクアケの中山社長の基調講演から始まり、岡本硝子㈱様、海内工業㈱様、㈱浜野製作所様、HILLTOP㈱様、㈱クライム・ワークス様が、安倍前総理と懇談されました。

当社も、安倍前総理と深く関わりのある山口県下関市の企業ということで、幸運にもメンバーの1社に選んで頂きました。安倍前総理とモニター越しにお話しさせて頂くという貴重な機会に、林社長のサポートをした私も、これまでにない緊張と高揚感に包まれました。

当社はステンレスを主とした金属加工を行っている会社で、材料切断～溶接作業、仕上げ作業まで一貫製作をしています。ものづくり補助金や設備の即時償却など、当社にとってもアベノミクスの経済政策による恩恵は計りしれません。

気さくで温かいお人柄に感激です！

安倍前総理へコロナ禍での会社の現状や、数々の経済政策に対する感謝のメッセージを直接お伝えできたことは、本当に喜ばしいことでした。

当社が製作し下関市に寄贈した「クジラのモニュメント」についても触れて頂き、気さくで温かいお人柄に触れ、改めてファンになってしまいました。

そして何より、体調の良さを感じさせるお姿を拝見でき、大変安堵しました。

参加者全員でオンライン乾杯！

最後に『エミダスだよ！全員集合！』のおなじみのかけ声とともに、安倍前総理を交えてオンライン乾杯という素敵なサプライズもあり、和やかな雰囲気で会は締めくくられました。コロナ禍で落ち込むことも多い日々でしたが、遠隔地からでも気軽に参加できるオンライン開催で、夢のような素晴らしい経験をさせて頂いたこと、心より感謝致します。

〈宮本　沙紀　（株）まるわステンレス工業〉

本イベントの動画は、ＮＣネットワークYoutubeチャンネル『EMIDAS MOVIE/エミダスムービーチャンネル』にて公開されています。
下記ＵＲＬ、またはＱＲコードのリンク先にて、お時間のあるときにでも、ぜひご視聴ください！
（当社は46分頃から登場します）

https://www.youtube.com/watch?v=IY1tMrecdZM&t=1s

MY BOOM
マイブーム

～カヤックから見る、日本の自然の豊かさ～

私が10年程前から始めたカヤック。カヤックとは、一人乗りの手漕ぎ船のことで、川を下る、海を漕ぐなど用途別に応じて種類が分かれています。川と海それぞれでのカヤックの魅力を紹介したいと思います。

普段見れない景色を見れること

川・渓流の景色

晴れている日に、山間部を流れる緑に囲まれた渓流を下ると、木漏れ日が水面に反射する素敵な場所を見つけたりします。こんな場所で水面に浮かび休憩すると、瀬を下ってきた緊張感がほぐれてとても癒されます。良い川は何度下っても飽きないものです。

島根半島シーカヤックとビーチキャンプ

海・リアス式海岸の景色

波の浸食で形成されたリアス式海岸地域では、陸からは行けないビーチがたくさんあります。そこに上陸できるのはカヤックならではだと思います。そんなプライベートビーチを見つけて仲間とキャンプをする夜は、他では替え難い楽しみがあります。

水のパワーを感じることができること

激しい川や、波のある海でカヤックに乗っていると、下から突き上げられたり、強い流れに押されたりします。慣れないうちは、水のパワーが想像以上にパワフルで、ドキドキするものですが、流れや波のパワーをうまく使えるようになると、他では味わえない感覚を体験できます。

日本一の激流・小歩危峡でのホワイトウォーターカヤック

海・波に乗る

サーフィンをイメージしてみるとわかるかと思いますが、沖の方からくるウネリが自分の手前までくると、海がカヤック(やサーフボード)を後ろからグッと持ち上げ始め、波の斜面ができ、カヤックが波に押されて走り出す。この走りだした瞬間、どんどんスピードに乗っていく疾走感が気持ちいいです。

川・急流を漕ぎ下る

川の速い流れに乗り、パドルで思いっきり漕ぐと、どんどんスピードに乗っていきます。そのスピードで、水しぶきを浴びながら、落差がある落ち込みの先にある、水の壁(ホール)を、思いっきり突き抜ける。すさまじい爽快感があります。

カヤックから見る日本の自然の豊かさ

日本は、河川大国であり、海に囲まれた島国であり、カヤックで遊ぶにはとても恵まれていると思います。カヤックという遊び方を知った今、「(田舎なので)遊ぶところが何もないから…」と地元の方が謙遜して言われるような地域にこそ、豊かな海や川があったりして魅力を感じます。
これからもカヤックやアウトドアで、まだまだ知らない日本の良さを発見できたらいいなと思っています。

最後の清流・四万十川でのリバーツーリング

〈安永　翔太　(株) ヤスナガ〉

今　回　の　表　紙

福岡県筑紫野市にある「天拝山」山頂からの眺め

大宰府に左遷された菅原道真が、自らの無実を訴えるべく何度も登頂して天を拝したという伝記から名づけられた「天拝山」。標高257mなので30～40分で身軽に気軽に登れますが、最後に354段の雁木が待ち構えており、登頂時にはしっかりと達成感が味わえます。

登山経路もいくつかあり、この日は石楠花(しゃくなげ)谷ルートで満開のシャクナゲを楽しみながら登りました。山頂からは博多湾や福岡空港も一望でき、離陸して頭上を通過する飛行機を眺めながら、コロナの終息を願い天を拝しました。

〈 長澤 敏光　ナサ工業(株) 〉

編　集　後　記

結婚式は、地元の一宮神社で式を行いました

まず、非常に私事ではありますが、昨年の11月に結婚いたしました。

コロナ禍で生活が大きく変わったという方は非常に多いとは思われますが、私個人の中ではそれ以上に大きな変化、人生の節目を迎える形になりました。

結婚することが決まり、式場を選んで日取りを決め、これから準備をしていこうとなった時に最初の緊急事態宣言が発令されてしまい、そこからは中々に大変な時期を過ごしました。

一度は延期して来年以降にしようかという話もありましたが、ではいつになれば何の問題もなく安全に結婚式が行えるのか、いつ事態が収束するかは確定できないので、何とか色々と対策をとりつつ、規模を抑えながらということで準備し、幸い何事もなく無事に式を終えることができました。

現状から振り返ってみると、あの時に延期しなかったのは結果的に正しかったように感じています。

今年は、コロナ禍の中で二度目のゴールデンウィークを迎え、思うように連休を満喫できなかった方も多かったと思われます。

まだまだ厳しい状況が続きますが、自分の家庭を持ち、新たな生活を始めたことで、私としては今まで以上にこの先の社会が少しでも明るくなればと願う気持ちが強くなりました。

〈 稲冨 隆大　(株)稲富プレス工業所 〉

九州シートメタル工業会　今後の予定

日　程	予　定	開催場所
5/26(水)・5/27(木)	パワーアップ研修会(メイン研修)	アマダ九州営業所
6/10(木)・6/11(金)	問題解決(不良削減)実践訓練研修会(メイン研修)	アマダ九州営業所
6/16(水)	生産現場の問題解決	アマダ九州営業所
6/17(木)・6/18(金)	職長(製造業)・安全衛生責任者教育	アマダ九州営業所
7/6(火)	パワーアップ研修会(フォロー1日目)	アマダ九州営業所
7/8(木)	リーダー能力強化セミナー (1回目)	アマダ九州営業所
7/14(水)・7/15(木)	AP100中上級セミナー	アマダ九州営業所
7/20(火)・7/21(水)	板金図面検定試験前講習	アマダ九州営業所
7/27(火)	問題解決(不良削減)実践訓練研修会(フォロー1日目)	アマダ九州営業所

日　程	予　定	開催場所
8/4(水)・8/5(木)	AP100初級セミナー	アマダ九州営業所
8/25(水)	リーダー能力強化セミナー (2回目)	アマダ九州営業所
8/27(金)	パワーアップ研修会(フォロー2日目)	アマダ九州営業所
9/4(土)	板金図面検定試験	会場未定
9/8(水)	問題解決(不良削減)実践訓練研修会(フォロー2日目)	アマダ九州営業所
9/10(金)・9/11(土)	TIG溶接アルミニウム合金セミナー	ポリテクセンター福岡
9/14(火)	生産計画を工程管理	アマダ九州営業所
9/16(木)・9/17(金)	タレパン初級セミナー	アマダ九州営業所

九州シートメタル工業会　ホームページ

http://www/kyushu-sma.gr.jp

ホームページアドレス・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡ください。

九州シートメタル工業会 会報

シートメタル SHEET METAL 九州

No.60〈 2021 夏号 〉

発行日　令和3年5月25日
発　行　九州シートメタル工業会
事務局　株式会社アマダ 九州営業所
〒816-0912
福岡県大野城市御笠川1-9-4
TEL 092-580-8570